

市職員の給与などをお知らせします

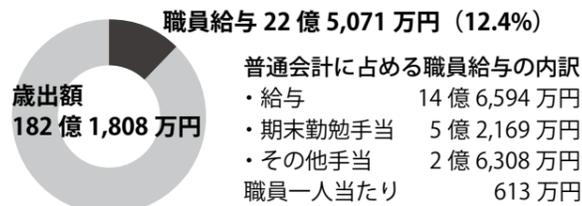
人事行政の運営状況について公平性や透明性を高めるため、市職員の給与や職員数について公表します。職員に支給される給与は、民間企業の賃金を基にして出される「人事院勧告」や、他の地方公共団体との均衡などを考慮し決定されています。今後も財政状況の改善を図るため、より一層の人員費の削減および適正化に取り組んでいきます。

■人件費の状況

平成21年度決算の普通会計における人件費の割合は次のとおりです。

※普通会計とは財政統計上で用いられる会計の名称で、加西市では一般会計に有線放送および公園墓地の特別会計を合算したものです。

■平成21年度普通会計決算より



■職員の年間給与

職員の給与とは、基本となる給料のほか期末勤勉手当（賞与）や通勤、住居、管理職手当など各種手当が含まれます。

単位：万円

年齢 (H21.4.1)	行政職	消防職	技能労務職
20～22歳	-	295	-
23～25歳	339	353	-
26～28歳	384	400	-
29～31歳	439	565	-
32～34歳	465	554	-
35～37歳	535	583	500
38～40歳	578	623	551
41～43歳	634	695	528
44～46歳	663	757	587
47～49歳	687	701	605
50～52歳	703	750	607
53～55歳	746	797	616
56～58歳	839	838	632
59～60歳	799	946	654

※平成21年度の年間支給実績

■給与制度の適切な運用

加西市では、目標管理型人事評価による賞与の加給（インセンティブ）や、若手職員の積極的な管理職登用など能力に応じた昇給・昇格を実施しているほか、時間外勤務の縮減などに取り組んでいます。

■時間外手当の状況

単位：万円

年度	H19	H20	H21
支給額	13,379	10,496	8,950
一人当たり	32	28	24

■特別職の報酬

■平成22年度の特別職の年収見込み額

役職名	市長	副市長	教育長
年収見込	1,415 万円	1,158 万円	1,068 万円

■平成22年度の特別職の賞与のカット状況

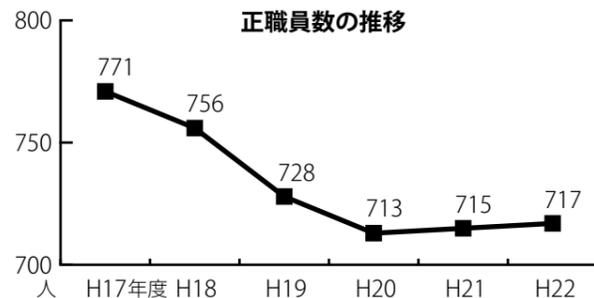
賞与の大幅カットを平成21年度から実施、本来の支給月数（3.95月）と比較して、下表の通り賞与をカットしています。

役職名	市長	副市長	教育長
賞与カット月数 (カット額)	1.3月 (141万円)	1.0月 (87万円)	0.7月 (54万円)

■職員数の状況

「財政再建推進計画」や「集中改革プラン」に基づく職員の純減に取り組んだ結果、17年度以降5年間で54名の削減を行うことができました。

「公民連携（PPP）」や「指定管理者制度」など民間活力の活用のほか、任期付職員の採用など、新たな人材活用に取り組みつつ、引き続き定員の適正化を図っていきます。※21年度以降の職員数増は、病院の医療体制充実によるものです。



■賞与のカット状況（平成22年度）

職員の賞与については、人事院勧告に基づき0.2月の引き下げを実施、さらに主任級以上の職員（医療職を除く）に、下表のとおりカット措置を導入しています。

全職員一律0.2月引き下げ（支給月数4.15月→3.95月）

職名	部長・課長	課長補佐・係長・主任
年間カット月数	0.45月	0.05月

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

『年末の加西病院』

■年末に思うこと

12月は一年の締めくくりの月です。一年間を振り返り、良かったこと残念だったことに満足したり反省したりします。そのような点検が行われるのは年が改まる功德です。加西病院について言えば、医療の質を高める取り組みや、問題が生じて対応を要したことなど、想起される事柄は尽きません。

■良かった事柄

まず、医療者を招聘出来ていることが何より朗報です。医療は本質的に労働集約的業務であり、人員不足では医療できません。加西病院が未だマンパワー不足であることは言を待ちませんが、職員が病院を嫌った集団的立ち去りが起こることもなく、招聘の難しい勤務医や看護師の赴任を得たことは何よりの喜びでした。今年もまた臨床研修医マッチングが全枠フルマッチしたことも未来に繋がるグッドニュースでした。

ハード面では大型医療機器を更新して医療レベルが向上しました。ソフト面では、栄養管理チーム（NST）が加算基準を満たし、感染制御チーム（ICT）や看護専門外来が活性化し、クリニカルパス体制が進みました。本院の自慢である医療安全、感染防止、緩和ケア、褥創管理、地域医療連携なども活性を維持しています。

市民に開かれた病院として、チョイ耳待合広場、まちかど医療指南、ホスピタル・フェア、加西病院市民フォーラム、かかりつけ医土曜検査枠など、病院職員の献身的な活動が光っています。

■残念だった事柄

逆に残念だったのは、県の定めた北播磨の地域医療再生基金の対象として小野三木統合病院と西脇市民病院が選ばれ、加西病院が外れたことです。また、離院された患者さんが敷地斜面の草むらで死亡されたこと

は大変お気の毒でした。改めてご冥福をお祈りいたします。加西病院は問題を組織的に検討して再発防止や改善策を行うことを常としており、この事にも数々の対策を行いました。

■市民と職員に感謝

地域医療を支える自治体病院が各地で医療崩壊に直面している報道が続いています。医療と教育が受けられない所からは、人が去っていきます。加西市に唯一の急性期病院である加西病院が立ち行かなくなれば、市民生活全体が立ち行かなくなります。そのような加西病院への応援として、個人のボランティアやご寄付を今年も頂きました。深く感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。

加西病院が元気に医療できているのは、高い士気と使命感を持った加西病院職員のお陰でもあります。加西病院職員は市民にとって宝です。しかしこの宝は壊れ易くもある宝です。どうぞ市民の方々は、彼等が遣り甲斐をもって医療を続けられますよう協力をお願い申し上げる次第です。

（病院事業管理者・院長 山邊裕）



【写真】市民ボランティアへの感謝状贈呈
加西病院では、病院のために尽くして下さる市民ボランティアへ感謝の気持ちを込めた表彰を行っています。

予防接種助成事業の改正について

広報かさい7月号でお知らせしました「ヒブワクチン予防接種助成」は、12月末で終了します。5歳未満の方で、平成22年4月から12月までにヒブワクチン予防接種を接種し、全額自己負担された方は12月28日（火）までに償還払い申請をしてください。

なお、今後、「ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン」の予防接種助成制度の改正が予定されています。現時点では改正内容は未定ですが、三種いずれかのワクチン接種を予定されている方は、接種前に下記へお問い合わせ下さい。

